

室内用

電波時計 取扱説明書
(デジタル電子音目覚まし時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造
発売元 リズム時計工業株式会社〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
http://www.rhythm.co.jp

(Y1706)

※印は販売店記入

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みのうえでご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられないときは、当社お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について

電子回路などの修理用性能部品は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより、修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。
Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先

お客様相談室 0120-557-005 (フリーダイヤル)

受付時間 9:00~17:00 (土日、祝日および当社休日を除く)

お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してある型番をお伝えください。

例 8RZ○○○ (○印は数字です。)

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ○は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

●は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

●誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない

万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

●電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。

注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

●電池の⊕⊖を正しく入れる
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。●強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。●浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびや故障の原因になります。●ぬれた手でさわらない
さびや故障の原因になります。●分解や改造をしない
けがや故障の原因になります。

おもな製品仕様

使用温度範囲	-10~50℃(液晶表示可読温度範囲0~40℃)*結露しないこと
時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度 ±1秒 標準電波を受信しない場合 平均月差±30秒(常温中のクォーツ精度)
使用電池	単3形マンガン乾電池 JIS規格 R6P 2個
電池寿命	約1年 1日当たり、アラームを30秒鳴らしたとき
標準電波	標準電波を受信して日付・時刻を修正
受信局	福島局/九州局自動選択
受信回数	1日8回
受信開始時刻	1時~4時、13時~16時 各時間帯の16分40秒に開始
受信ON/OFF	あり ボタン操作にて切替可能

アラーム機能	セットした時刻にアラームが鳴る	カレンダー	2011~2099年対応
アラーム精度	表示時刻に対して±0秒	六	曜 2011~2030年対応
アラーム音	4段階電子音 鳴り方が変化	温度表示	-9.9~50℃
スヌーズ	なし(止めてもまた鳴る)	温度精度	±2℃
オートストップ	あり(自動鳴り止め)	防塵防滴機能	なし
音量調節	なし		

*液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなり、表示が薄くなる場合があります。40℃以上になると表示が濃くなり、ムラに見えることがあります。

*液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。

*製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品 お試用電池 2個、木ねじ 1個、取扱説明書・保証書 本書

CITIZENはシチズン時計株式会社の登録商標です。

当社はCITIZENブランドライセンス商品の掛時計、置時計、めざまし時計、温度湿度計、ストップウォッチを企画・製造・販売しています。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

※品名・型番

※保証期間 お買い上げ 年 月 日より 1年間

お客様 氏名 様

ご住所

TEL() -

※販売店印(所在地、店舗名、電話番号)

取扱説明書にそった正常な使用状態において、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計お買い上げの販売店にご持参ください。無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。保証書は再発行いたしません。

- 部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
- この保証書は国内のみ有効です。This guarantee is valid only in Japan.
- ご記入いただきました個人情報、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

■販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

保証について

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますのでご注意ください。

- 保証書のご提示がない場合。
- 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
- お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
- お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
- 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
- お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
- ご使用中に生じる外観上の変化(ケースなどの小さかえられた場合、キズ)。
- 電池の交換。 ※送料・出張料は、実費をいただきます。

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 幼児の手が届かない所に置く。
- 種類の異なる電池を混ぜない。

■電池の種類について

●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。

●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

■電池の寿命について

●付属の電池は、お試用として工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

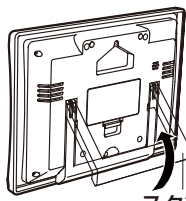
注意 電池の交換 早めに交換して液もれを防ぎましょう

電池からの液もれにより、修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池からの液もれや発熱、破裂を防ぐために、つぎのことをお守りください。

- 液晶表示が薄くなったときには、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 古い電池と新しい電池、マンガンとアルカリ電池を混ぜて使用しない。
- 動いていても1年に1回定期的に交換する。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。

時計の設置

置く



置いてご使用になるときはスタンドを図のように引き起こしてください。

※無理な力を加えるとスタンドが外れたり、破損することがあります。

※転倒や落下を防ぐために、水平で振動の少ない安定した所に設置してください。

掛ける

注意

掛けたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。

○掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け穴に掛け具(木ねじ)がしっかり掛かっていることを確認してください。

○垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。

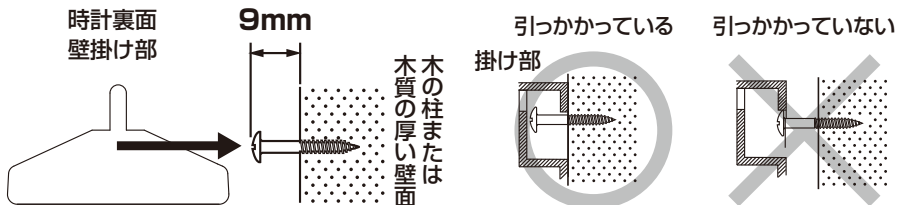
○ドアを開閉するときの振動が伝わらないところに設置してください。

○市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。

○スタンドは閉じてください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



その他の壁面の場合

- 石膏ボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

電池・時計の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 電池と時計を分別して廃棄してください。

お手入れについて

●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、柔らかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。

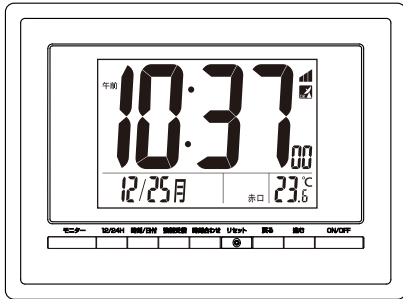
●ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

●壁掛けの場合、静電気で製品や壁が汚れることがあります。定期的に汚れを落としてください。

各部の名称と役割

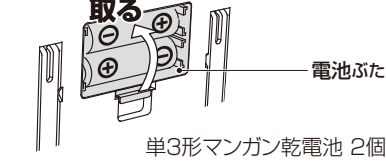
◎図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。

(正面)



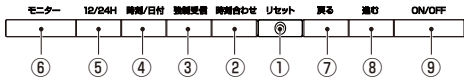
時計正面より見てください。液晶は見る方向により薄くなったり、ムラに見えることがあります。

(裏面)



- ①電池ふたを外す。
- ②電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて、単3形マンガン乾電池を2個入れる。
- ③電池ふたを取り付ける。

(正面操作部)



- ①リセット — 誤作動を防ぐために電池を入れた直後に押す。
押すと2011年1月1日午前12:00、アラーム時刻午前6:00になります。
- ②時刻合わせ — 手で日時を合わせるときに使用。
- ③強制受信 — すぐに電波の受信を開始させたいときに押す。
- ④時刻/日付 — 時刻と日付の表示位置を切り替えるときに押す。
- ⑤12/24H — 12時間表示(午前・午後付)と24時間表示を切り替えるときに押す。
- ⑥モニター — アラーム音の試聴をするときを使用。
- ⑦戻る — アラーム時刻や手で日時を合わせるときに使用。
- ⑧進む — アラームのON/OFF設定。押すたびにアラームのONとOFFが切り替わります。

注意

電池の⊕⊖を逆に入れると、電池の液漏れ・発熱・破裂の原因となります。

使いはじめるとき 電池を入れて、標準電波を受信して日時を合わせる

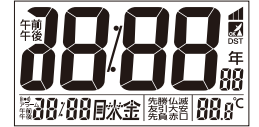
標準電波を利用しないで、手で日時を合わせるときには、**手動での時刻合わせ**をお読みください。

電波を受信しやすい窓際などに置いてください。

- ① 単3形マンガン電池を入れる
電池を入れると「ピ」と鳴ります。 ※短い時間に電池を入れ替えると鳴らないことがあります。
- ② リセットボタンを押す
「ピ」と鳴って、受信マークが点滅し受信を開始します。
※受信中はボタンに触れないでください。
- ③ 20分経過したら受信結果を確認する
受信時間は最長で20分です。受信マークで受信結果を確認してください。
【受信の流れと表示】参照

【受信の流れと表示】

〈リセットボタンを押した直後〉



〈受信開始〉
受信マーク(受信中点滅)



電源投入直後およびリセットボタンを押した直後は、2011年1月1日午前12:00、アラーム時刻 午前6:00に設定されます。

受信マークの変化(電波サーチ機能)
電波の状態により変化します。

受信できない → 受信しやすい



〈受信終了〉
最長20分後



(受信に成功したときの表示例)



(受信に失敗したときの表示例)

- 受信マークは受信成功後、24~25時間点灯。
- 受信に成功しても、電氣的なノイズにより誤った時刻や日付を表示することがあります。このようなときには、場所を変えてリセットボタンを押して再度受信を試みてください。

標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える／受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に、なるべく向くようにして、**強制受信**を押して再度受信を行ってください。
- 時刻を合わせて使用する
ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手で日時を合わせて使用してください。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手で日時を合わせてください。ONのまま使用すると、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。

手動での時刻合わせ ……電波が受信できないとき、任意の日時に合わせるとき

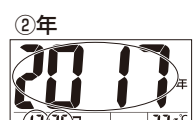
操作例に従って、西暦年、月、日、時刻(時/分)の順に設定してください。

年、月、日、時刻(時/分)でのボタン操作
点滅している数値を進むまたは戻るで合わせてから時刻合わせを押します。

ボタン	押してすぐ離す	押し続ける
進む	1つ進む	早送り
戻る	1つ戻る	早戻し

- 電波受信機能がONの場合、手で時刻合わせをしても自動受信を行い、受信に成功すると日時を修正します。【電波受信機能のON/OFF操作】参照
- 約30秒間ボタン操作を中断すると、表示されている内容で設定を終わります。
- アラームが鳴っているときやアラーム時刻が点滅しているときは、日時の設定はできません。
- 標準電波を受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

操作例. 2017年12月25日 午前10:37に合わせる

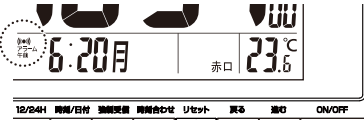


- ①西暦年が点滅するまで時刻合わせボタンを約2秒間押し続ける。

- ②西暦年を合わせる
 - ③月を合わせる
 - ④日を合わせる
 - ⑤時を合わせる
 - ⑥分を合わせる
※分のときに進むまたは戻るを押すと秒が00になります。
- 以上で設定は終わりです。

2 アラーム機能を使う

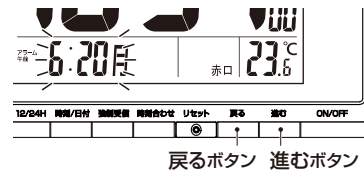
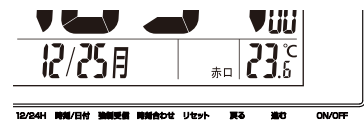
アラームボタンのON/OFF 設定



アラームON/OFFボタン
アラームON/OFFボタンを押すたびにアラームのONとOFFが切り替わります。
ON : 設定時刻にアラームが鳴る
OFF : アラームを止める、鳴らさない

アラームON時は、アラームマーク(☞)とアラーム時刻が常時表示されます

アラーム時刻を合わせる



- ①アラームをOFFにする
- ②進む/戻るボタンを押してすぐ離す
「アラーム」が点灯して、アラーム時刻が点滅。
- ③進む/戻るボタンでアラーム時刻を合わせる
押してすぐ離すと1分単位に、押し続けると連続して変わります。
- ④約5秒間ボタン操作をしないと設定を終わる
※現時点でアラームはOFFのままです。必要に応じてONとOFFを切り替えてください。

■オートストップ機能(自動鳴り止め)

鳴っているアラームを放置すると約2分で止まります。アラームの状態はONのままです。アラームがONのままでは、毎日アラームが鳴りますので、必要が無いときは、アラームをOFFにしてください。

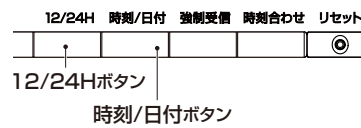
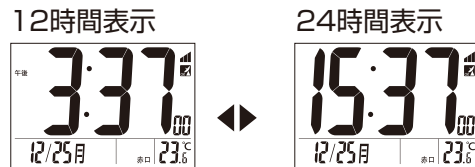
■アラーム音の試聴(モニターボタン)

モニターボタンを押すと約2分間アラームが鳴ります。途中で止めるには、モニターボタンを押してください。

電波の受信中、日時、アラーム時刻の設定中、アラーム状態のときは使えません。

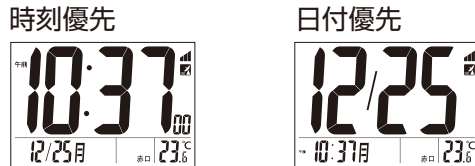
3 表示形式の切り替え

12/24Hボタンを押すと時刻表示が変わります。



次の状態のときは、表示の切り替えが出来ません。
●電波の受信中
●アラームが鳴っているとき
●アラーム時刻、カレンダー、時刻の設定中

時刻/日付ボタンを押すと表示位置が変わります。



4 曜日と六曜表示



表示位置は、曜日や六曜の種類により変わります。

○六曜は旧暦の月と日から導きだされ、先勝・友引・先負・仏滅・大安・赤口の6種類があります。六曜は慣習として使われていますが公的な機関が定めたものではありません。
○六曜は2011~2030年まで対応。2030年以降は表示されません。

5 温度表示

本製品は、一般的な家庭やオフィスの室内用です。

- ▶直射日光の当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くを避けてください。
- ▶温室、プール、サウナ、浴室、冷蔵庫、車の中、屋外などでは使用しないでください。空気がよく循環する所に設置してください。設置した所の高低によっても違いがでます。
- Ⓢ温度の厳密な管理、温度の証明や取引には使用できません。
- センサーが時計内部にあるため、すぐには周囲の温度の変化を反映しません。
- 温度が測定範囲を超えたときの表示。
LL.L: -9.9℃より低温 HH.H: +50℃より高温

静電気による誤作動について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときはリセットボタンを押してください。

電波時計について

電波時計とは

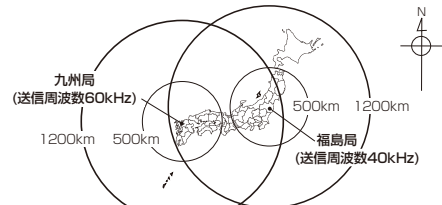
クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。標準電波送信所は、福島県の「福島局:おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。
※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jijy.nict.go.jp)

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波受信機能のON/OFF操作

受信機能 OFF (無効にして手で時刻を合わせる)
リセットボタンを約1秒間隔で3回押してください。
○「ピ」と鳴ってから押してください。
○OFFになると「ピ」と鳴りません。
○日付と時刻は手で合わせてください。

受信機能 ON (有効にして受信を開始する)
戻るボタンを押しながら、リセットボタンを押して離すと「ピ」と鳴って受信を開始します。その後戻るボタンを離してください。
○標準電波を定期的な受信して標準時刻に合わせます。

※操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。

強制受信とリセット操作

強制受信ボタン
場所を移動したときなどに、強制受信ボタンを押すと受信を開始します。受信に失敗しても時刻は継続して表示します。
次のようなときは受信を開始しません。
●アラームが鳴っているとき
●手で時刻またはアラーム時刻を設定しているとき
●受信機能がOFFになっているとき
リセットボタン
電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。リセット直後は、2011年1月1日午前12:00、アラーム時刻は午前6:00になります。受信機能がONのときは、受信を開始します。